

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成24年度事業)

事業の概要		17年度		根拠法令・例規等 医療法 備前市国民健康保険病院条例
事業開始年度	17年度			
総合計画 大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり		
中項目 基本施策	02	健やかで生き生きしたまちづくり		
小項目 施策	07	病院事業		問 担当課(室) 市立備前病院 合 職・氏名 庶務係長 藤澤昌紀 先 電 話 0869-64-3385
事務事業名	02	備前病院運営事業		
			このシート作成に要した時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	出資者である市民	
目的(何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民に安全で良質な医療を提供することを病院の理念としており、安定的な経営を行うことによって、地域の皆様に信頼され、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
病院運営(各種委員会)	病院の医療安全管理、感染対策や、業務、経営改善のための各種委員会の開催		
労務管理	病院職員の労務・健康管理		
施設管理	病院施設の管理		
財務管理	病院運営の財務管理		
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務、また他の細事業に属さない事務		
目的を達成するための実施した事業	右欄の評価の説明 <妥当性評価> 運営状況は厳しいが、入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として、安全で良質な医療を提供するためには、必要不可欠な事業である。 <効率性評価> 他病院の情報を広く収集し、材料費や経費の節減や、費用に見合った収益を確保できるよう、更に研究していく必要がある。また、他の医療機関との連携を強めるとともに、職員一丸となって地域住民のニーズに沿った病院となるよう院内で協議を重ね、患者目線に立ち、良質な医療を提供できるよう、機能性・効率性を重視して経営改善に取り組む必要がある。 <有効性評価> 理念どおりの、安全で良質な医療の提供のために最善を尽くし、地域の人々に信頼される病院とするためには、施設や機器の維持・整備を進める必要があり、継続して利益を確保していく必要がある。		

決算額	事業費等	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	直接事業費	千円	25,219	41,280	30,046
財源	必要人員費	千円	8.34人	57,480	11.22人
	事業費	千円	82,699	99,884	53,546
	国庫支出金	千円	1,979	2,276	1,708
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	80,720	97,608	81,884	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	
会議出席者数	説明	会議出席者延数			
結果指標量	人	1,533	1,671	2,049	
対前年比	%	-	109.0%	122.6%	
活動コスト	円	17,039,000	16,760,000	28,176,000	
単位当たりコスト	円	11,115	10,030	13,751	

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	年度	目標値(A)	100	100	100	100
決算における経常収支比率	実績値(B)	95.02	97.44	100.3	到達目標値	
	達成率(B/A)	95.02%	97.44%	100.30%	100	
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収支/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標 経常収支比率、職員給与費率、病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすいの経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで 選択)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	備前市病院事業経営評価委員会において、備前市病院事業改革プランの進捗状況について点検及び評価をするとともに、病院事業の経営に係る事項について調査及び検討を行い、人材確保、収益向上、経費節減等、経営改善の充実を図っていく。 また、院内スタッフ全職種が集まり、病院経営のための方策を検討するプロジェクトチームを立ち上げる。						

総合評価		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
患者数は、入院・外来ともに改善方向にあり、経常収支比率も目標を達成したが、まだ努力すべき余地がある。 過去においても、各委員会を定期的に開催し、業務改善・安全管理・院内感染対策など、安全・安心な医療提供について、協議し、改善につなげてきたが、経営やコスト意識についても病院スタッフ全体で研究し、取り組んでいく必要がある。		

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	病院の各部門が、それぞれの業務に対しての目標を明確に設定し、個々のスタッフもその実現に向けて努力し、点検・評価していく基盤を築いていく。 日々のそうした取り組みを通し、患者ニーズに沿ったサービスの提供を実現するとともに、3病院の連携の充実や経費節減にも更に力を注ぎ、健全経営を目指す。						

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら

Action